

問1	福沢諭吉が『学問のすゝめ』を通じて伝えた啓蒙思想の背景として、最も適切な説明を選びなさい。（2024年 群馬県公立入試 類似）			
	1. 治安維持法などの法律による統制を強化し、国民の行動を制限することで国家の安定を図ろうとした。	2. 欧米の植民地支配から逃れるために、アジア諸国と同盟を結んで鎖国体制に戻ろうとした。	3. 伝統的な武士道の精神を復興させ、明治政府の軍事力を強化しようとした。	4. 一人ひとりが自立した精神（独立自尊）を持つことで、列強に対抗できる近代国家を築こうとした。
問2	アフリカ大陸における宗教の分布について、大陸の北部と、中部・南部でそれぞれ主に信仰されている宗教の組み合わせとして、正しいものはどれですか。（2016年 群馬県公立入試 類似）			
	1. 北部：キリスト教、中部・南部：イスラム教	2. 北部：仏教、中部・南部：キリスト教	3. 北部：イスラム教、中部・南部：仏教	4. 北部：イスラム教、中部・南部：キリスト教
問3	琉球王国が15世紀から16世紀にかけて、アジア各地を結ぶ物流の拠点として「万国の津梁（世界の架け橋）」と呼ばれるほど繁栄できた理由を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2026年 群馬県公立入試 類似）			
	1. 倭寇と呼ばれる海賊集団を武力で鎮圧し、東シナ海の安全を確保して自由貿易を推進したから。	2. 中国（明）と朝貢貿易を行う権利を持ち、入手した中国の品物を日本などに転売する中継貿易を行ったから。	3. 足利義満が明の皇帝から日本国王に認められたことを利用し、勘合を用いた貿易を独占したから。	4. 幕府から朱印状を与えられた船を東南アジアへ派遣し、日本独自の産物を大量に輸出したから。
問4	日本の租税制度において、所得税や法人税は景気の動向によって税収額が大きく変動するという課題があります。これに対し、1997年の税率引き上げ以降、一定の税収水準を維持し続けている消費税が、財源として優れているとされる理由は何のような点にありますか。（2020年 群馬県公立入試 類似）			
	1. 景気の良し悪しにかかわらず、商品の購入等を通じて広く徴収できるため、税収が安定している点	2. 景気が悪化した際には自動的に税収が減少するため、家計の負担を軽減できる点	3. 輸出企業に対しては還付制度があるため、国内の製造業を直接的に保護できる点	4. 所得が高い人ほど高い税率を課す累進課税が適用されるため、所得の再分配機能が高い点
問5	経済活動における「サービス」の性質について述べた文として、正しいものはどれですか。（2025年 群馬県公立入試 類似）			
	1. 道路や公園のように、政府や地方自治体が税金を使って提供する施設のことである	2. 原材料を加工して新しい形のある製品を作り出し、販売する活動である	3. 人間の労働の提供や技術、便宜など、形のない価値をやり取りする活動である	4. 企業が生産活動を行うために必要とする、土地や建物、機械などのことである
問6	第二次世界大戦後、アメリカ合衆国とソ連が「宇宙開発競争」に力を入れ、月探査や有人宇宙飛行などの成果を世界に誇示した歴史的背景として、最も適切な説明はどれですか。（2026年 群馬県公立入試 類似）			
	1. 科学技術の優位性を示すことで、自国の体制の正当性や軍事的な影響力を世界にアピールするため	2. 国際連合の主導により、地球上のすべての紛争を解決するための平和利用に限定した技術開発を行うため	3. 植民地支配から独立したばかりのアジア・アフリカ諸国に対して、共同で宇宙移住計画を提案するため	4. 世界恐慌による経済停滞を打破するために、両国が協力して新産業を創出することを目的としたため
問7	「緑の革命」とも呼ばれる、1960年代以降の開発途上国における食料増産政策について、その具体的な手法の組み合わせとして正しいものを選びなさい。（2024年 群馬県公立入試 類似）			
	1. 伝統農法の継承と有機肥料の普及	2. 焼畑農業の拡大と森林伐採の推進	3. 穀物の品種改良と化学肥料の使用	4. 温室栽培の導入とバイオ燃料の生産
問8	企業が生産活動において「効率」を追求する理由と、その仕組みについて述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2024年 群馬県公立入試 類似）			
	1. 市場における独占的な地位を築くためには、あえて非効率な生産を行って供給を不安定にする必要があるから。	2. 資源や資金は有限であるため、無駄を省いて生産性を高めることが、企業の利潤を増やすことにつながるから。	3. 現代社会では効率性よりも公正性が常に優先されるべきであり、企業は利潤を無視して社会貢献を行うべきだから。	4. 効率を追求すると商品の価格が必ず上昇するため、売上高を最大化する戦略として有効だから。
問9	持続可能な社会の実現に向けて、食品ロスの削減は重要な課題です。地域別の統計において、先進地域の「消費段階」における食品ロスが発展途上地域よりも多くなっている背景として、最も適切な説明はどれですか。（2022年 群馬県公立入試 類似）			
	1. 家庭での調理余りや食べ残し、小売店での賞味期限切れに伴う廃棄などが主な要因となっている。	2. 道路や鉄道などの輸送網が未発達であり、都市部へ食料を運ぶのに時間がかかることが主な要因となっている。	3. 農作物を収穫するための機械が不足しており、畑に農作物が放置されることが主な要因となっている。	4. 冷蔵保管庫などの施設が整っていないため、市場に届く前に食料が腐敗してしまうことが主な要因となっている。
問10	幕末の開国にともなう貿易の開始は、日本の社会に大きな混乱をもたらしました。当時の物価と庶民の生活について述べた文として、正しいものはどれですか。（2020年 群馬県公立入試 類似）			
	1. 輸出が活発になったことで、都市部の労働者の賃金も物価上昇を上回るペースで引き上げられた。	2. 横浜での貿易開始後、国内の品不足から物価が急騰したが、賃金が上昇しなかったため庶民の生活は苦しくなった。	3. 外国から安くて質の良い商品が大量に輸入されたため、物価が下落して庶民の生活は以前より豊かになった。	4. 幕府が物価を安定させるために、生活必需品をすべて買い上げて庶民に安く配布する政策をとった。
問11	北アメリカ大陸の地形と自然災害について述べた文として、最も適当なものはどれですか。（2022年 群馬県公立入試 類似）			
	1. 西海岸沿いは環太平洋造山帯に含まれており、地震の発生や火山の噴火が起こりやすい。	2. 大陸全体が安定陸塊と呼ばれる古い地層でできているため、火山や地震の影響は全く受けない。	3. 五大湖周辺はプレートの境界に位置しているため、世界で最も地震の発生密度が高い。	4. 東海岸沿いは環太平洋造山帯に含まれており、険しい山脈が連なり火山活動が活発である。
問12	日本の労働環境において、パートタイムや契約社員、派遣労働者など、雇用期間に定めがある労働形態を総称して何と呼びますか。最も適切な名称を選びなさい。（2025年 群馬県公立入試 類似）			
	1. 非正規雇用	2. 成果主義	3. 終身雇用	4. 正規雇用

答え合わせ・解説

問1	答え 4 一人ひとりが自立した精神（独立自尊）を持つことで、列強に対抗できる近代国家を築こうとした。	福沢諭吉は、欧米列強の脅威から日本を守り近代化を進めるためには、制度を整えるだけでなく、国民一人ひとりが「独立自尊（自ら考え自立すること）」の精神を持つ必要があると考えました。国民が学問によって知恵をつければ、国全体が強くなるという考えが背景にあります。一方で、選択肢にある治安維持法は大正時代（1925年）に制定されたものであり、時代が異なります。
問2	答え 4 北部：イスラム教、中部・南部：キリスト教	アフリカ大陸の宗教分布は、地理的要因や歴史的背景によって大きく二分されています。地中海に面した北部の国々では、西アジアとの交流が深かったことからイスラム教が広く普及しました。一方、サハラ砂漠より南側の中部・南部では、かつてのヨーロッパ諸国による植民地支配の影響などにより、キリスト教が広まったという特徴があります。
問3	答え 2 中国（明）と朝貢貿易を行う権利を持ち、入手した中国の品物を日本などに転売する中継貿易を行ったから。	琉球王国の繁栄の背景には、中国（明）との間に結ばれた朝貢関係があります。当時の明は民間人の勝手な貿易を禁じていましたが、琉球のような朝貢国には貿易を認めていました。琉球はこの特権を利用して、中国から得た生糸や薬草などを日本に売り、日本からは銀や銅、海産物などを仕入れて中国や東南アジアに流すという、中継貿易の仕組みを作り上げたことが繁栄の大きな要因です。
問4	答え 1 景気の良し悪しにかかわらず、商品の購入等を通じて広く徴収できるため、税収が安定している点	消費税は、所得の多い少ないや企業の利益の有無にかかわらず、消費者が買い物をした際に支払う税金です。そのため、不況時に所得税や法人税の税収が大きく落ち込む局面でも、消費税の税収は極端に減ることがなく、国の財政運営において極めて高い安定性を持っています。1990年代以降の長期的な推移を見ても、他の主要二税に比べて安定した推移を示しています。
問5	答え 3 人間の労働の提供や技術、便宜など、形の無い価値をやり取りする活動である	サービスは、製造業などが作り出す形のある「財」とは異なり、輸送、通信、教育、娯楽、医療などのように、形のない労働そのものや、それによってもたらされる利便性を提供することを特徴とします。選択肢にある「道路や公園」は公共財、「土地や建物」は生産手段（資本）の説明であり、サービスとは区別されます。
問6	答え 1 科学技術の優位性を示すことで、自国の体制の正当性や軍事的な影響力を世界にアピールするため	冷戦期における宇宙開発は、単なる科学探究の枠を超え、国家の威信をかけた「体制間の競争」としての側面を強く持っていました。特にロケット技術は大陸間弾道ミサイル（ICBM）などの軍事技術と密接に関係していたため、宇宙開発で先行することは、相手国に対して軍事的な優位に立つことを意味していました。
問7	答え 3 穀物の品種改良と化学肥料の使用	緑の革命の核心は、バイオテクノロジーの前段階としての品種改良と、工業的に生産された化学肥料の投入にあります。これにより、それまで土地が持っていた生産能力の限界を突破し、短期間で大量の主食（穀物）を生産することが可能になりました。一方で、貧富の差の拡大や環境負荷などの課題も生じました。
問8	答え 2 資源や資金は有限であるため、無駄を省いて生産性を高めることが、企業の利潤を増やすことにつながるから。	企業は限られた経営資源（ヒト・モノ・カネ）を無駄なく使うことで、生産コストを抑え、より多くの付加価値を生み出すことができます。この効率性の追求は、企業の目的である利潤の最大化と密接に関係しています。一方で、効率性だけでなく公正性とのバランスをどう取るかも現代経済の重要な課題です。
問9	答え 1 家庭での調理余りや食べ残し、小売店での賞味期限切れに伴う廃棄などが主な要因となっている。	先進地域における食品ロスの特徴は、食料が消費者の手に渡る直前、あるいは渡った後の「消費段階」で多く発生することにあります。これには、消費者の過剰な買い溜め、飲食店や家庭での食べ残し、さらには厳格な鮮度管理による小売店での期限切れ廃棄などが背景にあります。これに対し、他の選択肢にある収穫技術や保存施設、輸送網の課題は、主に発展途上地域で見られる生産・流通段階のロス要因です。
問10	答え 2 横浜での貿易開始後、国内の品不足から物価が急騰したが、賃金が上昇しなかったため庶民の生活は苦しくなった。	自由な貿易が始まったことで、国内の物資が海外へ流出し、激しいインフレーション（物価高騰）が起こりました。特に米などの生活必需品の価格が数倍に跳ね上がった一方で、労働者の所得（賃金）は変わらなかったため、都市の貧困層を中心に生活が成り立たなくなりました。これが「打ちこわし」や「世直し」を求める社会運動の背景となりました。輸出増が直ちに庶民の好景気につながったわけではありません。
問11	答え 1 西海岸沿いは環太平洋造山帯に含まれており、地震の発生や火山の噴火が起こりやすい。	環太平洋造山帯は、太平洋を取り囲むように分布する新しい造山帯であり、地殻変動が激しいのが特徴です。北アメリカ大陸においては、西側の海岸沿いがこの造山帯に属しているため、古くから地震の被害や火山の噴火といった自然災害のリスクが高い地域として知られています。一方で、東海岸や五大湖周辺は比較的古い地質構造を持っており、西海岸に比べると地震の発生頻度は低くなります。
問12	答え 1 非正規雇用	雇用期間に定めがあり、労働時間や賃金などの条件が正社員とは異なる労働形態を非正規雇用と呼びます。働き方の多様化が進む一方で、雇用の不安定さや経済格差の拡大といった課題も指摘されています。